

タイ保健医療体験入門プログラム 参加者募集

締切り：2018年6月1日（金）17:00まで

申込み/問合せ先：各専攻の担当教員まで↓

看護学専攻	中山 奈津紀	nakayama@met.nagoya-u.ac.jp
医療技術学専攻 医用量子科学講座	砂口 尚輝	sunaguchi@met.nagoya-u.ac.jp
医療技術学専攻 病態解析学講座	上山 純	ueyama@met.nagoya-u.ac.jp
リハビリテーション療法学専攻 理学療法学講座	井上 倫恵	inoue@met.nagoya-u.ac.jp
リハビリテーション療法学専攻 作業療法学講座	上村 純一	uemura@met.nagoya-u.ac.jp

期間	2018年9月2日（日）～10日（月）
対象者	保健学科 学部生・大学院生（学年問わず）
プログラム 参加費用	約20万円 （内訳：研修費1000アメリカドル+航空券85000円）
研修費に 含まれるもの	宿泊費（原則、2名1室利用）、一部食費、空港 送迎、タイ国内移動交通費、施設訪問・入館料など）

奨学金支給	支援対象者：15名 金額：7万円 *プログラム終了後、修了書、報告書などを確認の上、銀行 口座に振込みとなります。詳細は裏面を確認してください。
-------	---

1) 短期海外研修の趣旨

保健学科在籍中の学生（学部生、大学院生含む）を対象に、夏季休校期間中（9月3日出発9月11日帰国予定）にタイで短期海外研修プログラムを実施します。研修中は英語による講義やディスカッションのほか、多彩な諸活動を通してさまざまな異文化交流を体験することで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。海外生活体験をしたい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方のための入門研修です。

2) 短期海外研修の特徴

本プログラムは、タイのマヒドン大学アセアン保健開発研究所（ASEAN Institute for Health Development, AIHD）との連携研修です。

- 座学に加え、病院見学、フィールドワークなどを取り入れたアクティブラーニング型の研修です。
- 保健医療福祉に関する専門的知識の獲得と同時に、現地学生やスタッフとの交流を通じて、異文化学習のための研修となっています。
- 帰国後には、研修報告会を通じて、短期の現地研修での学びをより深いものとする取り組みを行います。

3) 奨学金 対象条件などについて

- ✓ 派遣対象者：
保健学科 学部生・大学院生（学年問わず）。ただし、前年度の成績が受給基準となりますので、**新1年生、編入生については対象基準外となる可能性があります。**
- ✓ 奨学金支給内容：
支給対象者数・・・15名
支給金額・・・7万円
支給時期・・・プログラム終了後、修了証、報告書等を確認の上、学生の銀行口座に振込
- ✓ 奨学金受給資格：
 - a. 学業基準
前年度の成績評価係数が2.30以上（基準以下は原則認められません。）
*ただし、前年度社会人等で成績評価係数が算出できない場合は、優秀（2.30以上相当）であると判断した理由書（様式随意）を基に協議をして認められる場合もあります。
 - b. 家計基準（年収・所得の上限額）
学部生・・・給与所得世帯 1,012万円以下・給与所得以外の世帯で604万円以下
大学院生・・・本人及び配偶者の所得 修士 538万円以下、博士 718万円以下
*ただし、家計基準は超えている者でも他に適切な対象者がなく、大学が経済的理由により自費のみでの参加は困難と認めれば、奨学生とすることは可能。

奨学金申請のため教務学生係への申請書類をご準備ください ※6月中締切

日本学生支援機構 海外留学支援制度 (協定派遣) 奨学金 申請時書類について

海外留学支援制度 (協定派遣) 奨学金を希望する場合は、次の(1)~(4) (該当者は(5)も)を揃えて、6月1日(金)までに教務学生係へ提出してください。

(1) 収入の証明書類

【学部生】

家計支持者の収入に関する証明書(コピー可)を提出してください。(父母がいる場合は、両方の証明書を提出してください。)

○給与世帯所得→源泉徴収票のコピー

○給与所得以外→確定申告書の写し(電子申告した場合は申告内容確認票の写し)

【大学院生】

本人及び配偶者の収入に関する証明書(コピー可)を提出してください。

平成29年1月 ~ 12月の証明書 類	定職収入がある場合	・源泉徴収票(給与所得者)又は ・所得税の確定申告書(控)
	アルバイト収入の場合	アルバイト先の源泉徴収票、給与支払証明書、直近3ヶ月分の給与振込の金額が分かるもの(通帳のコピー)等
	奨学金を受けている場合	・奨学生採用決定通知 ・奨学金受給額を証明する書類
	その他	当該収入を証明できる書類

(2) 「家計基準的確性判定のための確認事項」(様式有り)

様式の注意事項を確認の上、作成して提出してください。

(3) パスポートの本人氏名、写真等記載欄のコピー

パスポート申請中の方は、まず申請した氏名英字を紙に書いて提出し、パスポート受け取り後、本人氏名、写真等記載欄のコピーを提出してください。

(4) 本人名義の銀行口座の表紙及び表紙内側最初のページのコピー

奨学金振り込みのため②必要です。奨学金の振り込みは研修終了後になります。

[対象銀行]

三菱東京UFJ銀行・三井住友銀行・愛知銀行・名古屋銀行・ゆうちょ銀行

蒲郡信用金庫・大垣共立銀行・中京銀行・十六銀行

※上記以外の銀行等には振り込むことができませんので、ご注意ください。

(5) 自己推薦書(様式L-2)

他大学から入学したM1の方については、奨学金申請に際して成績評価係数の算出ができないため、「自己推薦書」の提出が必要です。教務学生係にて様式をお渡ししますので、必要な場合はお問い合わせください。

※ 頂いた個人情報は、海外留学支援制度(協定派遣)に関する業務にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。

平成 30 年度海外留学支援制度（協定派遣）
家計基準適格性判定のための確認事項

専攻・学年 _____ 専攻 _____ 年

氏 名 _____

参加希望プログラム（○を付けてください）

（ ） タイ保健医療体験入門プログラム

（ ） 看護学国際交流短期派遣プログラム

海外留学支援制度（協定派遣）家計基準適格性判定に必要ですので、次の 1. 及び 2. に回答して下さい。

1. 家計基準適格性の確認

以下の＜回答をする際の注意事項＞を参照し「回答」欄に必要事項を記入してください。

確認事項	回答	備考
① 世帯人員	人	
② (a)家計支持者の収入・所得金額（主）	円	
② (b)家計支持者の収入・所得金額（従）	円	<該当がある場合のみ>
③ (a)本人以外の就学者の人数	人	
③ (b)本人以外の就学者の内訳		<該当がある場合のみ>
④ 母子・父子家庭		<該当がある場合のみ>
⑤ 障害者のいる世帯（人数）	人	<該当がある場合のみ>
⑥ 家計支持者が別居している世帯	円	<該当がある場合のみ>
⑦ 長期療養者のいる世帯	円	<該当がある場合のみ>
⑧ 火災・風水害等により収入源・支出増となった世帯	円	<該当がある場合のみ>
⑨ 自宅・自宅外の別	自宅 ・ 自宅外	
⑩ 授業料年額	円	

＜回答をする際の注意事項＞

① 世帯人員

世帯人員は、本人を含む同一生計を営む世帯の人数のことです。

住民票上の別世帯であっても、同一生計の者（単身赴任中の父等）は世帯人員に含みます。

② 家計支持者の収入・所得金額

収入・所得が多い方を「家計支持者の収入・所得金額（主）」欄に記入してください。

・ 給与所得者→源泉徴収票等の「支払金額」

・ 給与所得者以外→確定申告等における「所得金額」を記入してください。

※ 必ず、数字の根拠となる源泉徴収票や確定申告等の写しを提出してください。

※ 従たる家計支持者の収入・所得金額も該当があれば、写しを提出してください。

〔学部用〕

※ 前年度中の所得がない場合は、所得証明書（市区町村発行）を提出してください。

③ 本人以外の就学者の人数と内訳を例に従って記入してください。

（例）

③ (a)本人以外の就学者の人数	2人	
③ (b)本人以外の就学者の内訳	小学校5年生1人、 私立大学2年生1人	<該当がある場合のみ>

※ 就学前（幼稚園児）、小中学校は人数のみ、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校については、人数とそれぞれの年次、国公立・私立の別も教えてください。

*以下④～⑧については、該当がある場合のみ、ご回答ください。

④ 母子・父子家庭

⑤ 障害者のいる世帯

・該当がある場合は、その人数を記入してください。

⑥ 家計支持者が別居している世帯

・主たる家計支持者が単身赴任などにより別居している場合は、別居のために支出している家賃、光熱水費等を「年額（実費）」で記入してください。

⑦ 長期療養者のいる世帯（6か月以上が対象）

・同じ世帯に「長期に療養を要する人」がいる場合、その治療（診療）費・医薬品費・交通費（通院に必要不可欠なものに限る）等を「年額（実費）」で記入してください。

⑧ 火災・風水害等により収入減・支出増となった世帯

・申込時から過去1年以内に、「震災・風水害・火災など」により被害を受け、「収入減もしくは支出増」となった場合は、その「年額（見込・実費）」を記入してください。

⑨ 自宅、自宅外のどちらに当てはまるか、○をつけてください。

⑩ 授業料年額（実際に支払っている金額）を教えてください。

授業料免除を受けている場合など、実際に支払っている金額を記入してください。

2. 渡航支援金の支給希望について

渡航支援金の支給希望有無を教えてください。 支給希望（有・無）

※渡航支援金とは

一定の家計基準を満たした場合に、渡航等に必要な費用を支援するために支給します。

・家計基準 給与所得のみの世帯（年間収入金額（税込）300万円以下）

給与所得以外の所得を含む世帯（年間所得金額（必要経費控除後）200万円以下）

・支給額 16万円

平成 30 年度海外留学支援制度（協定派遣）
家計基準適格性判定のための確認事項

専攻・講座 _____

学 年 (MC・DC) _____ 年

氏 名 _____

参加希望プログラム (○を付けてください)

() タイ保健医療体験入門プログラム

() 名古屋－延世大学学術研究交流プログラム

海外留学支援制度（協定派遣）家計基準適格性判定に必要ですので、次の 1. 及び 2. に回答して下さい。

1. 家計基準適格性の確認

以下の＜回答をする際の注意事項＞を参照し「回答」欄に必要事項を記入してください。

確認事項	回答		備考
	前年	本年見込み (該当の場合のみ)	
① 申込者本人の定職収入・所得金額	円	円	
② 父母からの給付額	円	円	<該当がある場合のみ>
③ 奨学金	円	円	<該当がある場合のみ>
④ その他	円	円	<該当がある場合のみ>
⑤ 定職のある配偶者の収入・所得金額	円	円	<該当がある場合のみ>

＜回答をする際の注意事項＞

*原則、「前年」の収入・所得金額を回答してください。ただし、「前年」に比べ、「本年見込」の収入・所得金額が明らかに変動する場合のみ、「前年」に加え「本年見込」も同様にご回答ください。

① 申込者本人の定職収入・所得金額

該当額を記入してください。

・給与所得者→源泉徴収票等の「支払金額」

・給与所得者以外→確定申告等における「所得金額」を記入してください。

※ 必ず、数字の根拠となる源泉徴収票や確定申告等の写しを提出してください。

※ 前年度中の所得がない場合は、所得証明書（市区町村発行）を提出してください。

② 父母からの給付額

該当がある場合のみ、「年額（実費）」を記入してください。

〔裏面に続く〕

③ 奨学金

該当がある場合のみ、「年額（実費）」を記入してください。

④ その他

利子、配当、預貯金の取り崩し額等の該当がある場合のみ、「年額（実費）」を記入してください。

⑤ 定職のある配偶者の収入・所得金額

該当がある場合のみ記入してください。該当する場合は、□を参照してください。

2. 渡航支援金の支給希望について

渡航支援金の支給希望有無を教えてください。 支給希望（有 ・ 無 ）

※ 渡航支援金とは

一定の家計基準を満たした場合に、渡航等に必要な費用（16万円）を支援します。

・家計基準： 給与所得のみおの世帯（年間収入金額（税込）300万円以下）

給与所得以外の所得を含む世帯（年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下）

・支給額 16万円

※独立生計者の場合には、事前に教務学生係（ihogakumu@adm.nagoya-u.ac.jp）へ必要書類について照会してください。

2017 年度タイ渡航スケジュール

日	
9/3 (日)	08.30 中部国際空港旅客ターミナル3階総合案内所前 集合 (出発ロビー中央) 11.00 セントレア発 (タイ国際航空) NGO (タイ国際航空 TG 645) 直行便 15.00 スワンナプーム国際空港着 BKK 16.00 ラチャブリ県に移動 (~17.00)
9/4 (月)	08.30 ホテル出発 09.00 アワット・プレン病院 見学 地区レベルの地域病院の保健医療活動について説明と見学 13.30 地区レベル: ヘルスセンター (Health Promoting Hospital) の活動見学 在宅患者宅 訪問・視察 (~16.30)
9/5 (火)	08.30 ホテル出発 09.00 ポタラム総合病院 見学 県レベルでの医療サービスについて説明と見学 13.30 在宅患者宅 訪問・視察 (~15:30)
9/6 (水)	08.00 ホテル出発 マヒドン大学サラヤキャンパスへ 09.30 マヒドン大学 文書資料館と博物館の見学 11.00 マヒドン大学 検査学専攻の訪問と交流 13.30 AIHD (アセアン保健開発研究所) にてタイの保健医療について概要説明 15.30 前半修了セレモニー (~16.00) 19.00 Holiday Inn Express Bangkok Sathorn チェックインへ
9/7 (木)	09.00 シリラート病院見学 (外来、病棟、放射線科、臨床検査部門、リハビリ部門) 12.00 ランチ 13.30 シリラート医学博物館見学 18.00 振返りと夕食
9/8 (金)	09.00 タイ国立小児病院訪問 (タイの小児保健に関する活動について視察) 12.00 ランチ 13.00 チュラロンコン大学看護学部訪問・交流 大学院生の研究活動について相互交流 18.00 夕食 (伝統舞踊見学 Silom village) <各自支払い: ドリンク代>
9/9 (土)	09.00-15.00 Taling Chan floating market (地域住民の生活の現状について見学) 16.00-20:00 Asiatique The Riverfront<夕食各自>
9/10 (日)	08.30-10.00 The Grand Palace (王宮文化および宗教文化について見学) 10.30-12.00 Wat po 12:30-14:30 ランチ (Larb Loi at Yodpiman River Walk) <各自支払い: 約 200-300baht> 15:00-17:00 Museum Siam
9/11 (月)	07.30 ホテル発 (JTB バス手配) 10.45 スワンナプーム国際空港 (タイ国際航空) BKK (タイ国際航空 TG 646) 直行便 18.40 セントレア着 NGO

2017.09.01

(宿泊)・9/3~9/5 Space59 Hotel

8/9 Thaoaothong road Nameung A.Meung Ratchaburi, Ratchaburi, RT, タイ
電話: +66 32 315 559

・9/6~9/10 Holiday Inn Express Bangkok Sathorn

所在地: 51 Soi Phiphat, Khwaeng Silom, Khet Bang Rak, Krung Thep Maha Nakhon 10500 タイ
電話: +66 2 660 2800



2017年度タイ研修の写真